

学生だからこそ、 伝えられる魅力がある！

木曾銀河学校の同窓生らがNPO法人 「サイエンス・ステーション」を発足

文◎藤原英明 (NPO法人 Science Station 理事/東京大学4年)



今年5月に木曾観測所を舞台にして行われた「星の教室」での一コマ。「宇宙年齢を求める」という実習で、高校生に対して指導した。

今年3月、私たちは Science Station (以下SS) というNPO 法人を発足させた。ひと言で言え ば科学の教育普及を行う団体だ。 似たような目的の団体は他にもい くつかありそうだが、SSの特徴 は、①科学の楽しさ(と厳しさ) を知った経験を持つ学生が活動の 主体となる。②先端科学の現場に ある研究者や施設の協力を得るこ とで生きた科学の姿を伝える場を 提供することが可能、という点だ。

このSS、もともと東大木曾 観測所が毎年開催している高校生 向け天文学研究セミナー「銀河学 校」がきっかけだった。銀河学校 卒業生の中には、後に大学で天文 学を専攻し、研究者を目指す者や、

さらには、後の銀河学校を自主的 に手伝うようになった者も現れた (私もその一人)。そんな中、「自分 が銀河学校を通じて知ったよう な科学の魅力を多くの人に伝えたい」という思いが熟成し、私たち を突き動かした。そして今年、東 大天文学教育研究センター長で前 木曾観測所長である吉井謙教授ら の指導の下、NPO法人としての SSを立ち上げるに至った。NPO 法人にすることで、これまで個人 ベースで行ってきた活動を組織 的なものにし、より多くの人に私 たちの活動や科学への思いを知っ てもらおうと考えたのだ。

具体的な活動としては、 銀河学校(毎年春)の運営に加え、教育現場 への出前授業・人材 派遣、天文学の教材 開発などがあるが、 試験的にはあるが、 日本天文学会ジュ ニアセッションで 発表した一部の高校生 に対して助成 も行った。最近では、天文学以外から も物理、化学など 多分野の学生が 参加しており、活動 を天文に限らない 科学全般に広げている。特に今後は、 中学高校といった教育 現場に立つ方々とも連携 し、より効果的に「ナマ」の 科学を伝えられる教育の形を模 索したい。そのためにも、たくさ んの方々のご協力を得られれば、 と思っている。

SSの活動の主体は学生だ。学 業との両立は確かに楽ではない。 しかし、自分の学業に閉じこもり がちな学生時代に学外で教育に携 われるこの活動は、教えることの 難しさを知り、さらには自分自身 を見つめなおす良い機会である。 そんな意味でも、多くの学生に参 加してほしいし、多くの人にこの



SSを「利用」していただきたい。「出前授業」の依頼は、随時受け付けている。その他の活動にも注目していただければと思う。「実際に科学の謎に挑んでいる若者だからこそ、伝えられる魅力がある！」そんな思いを胸に、私たちは科学教育への決意を固め、いま、駅を出発した。

連絡先 ■ NPO 法人 “Science Station” 事務局
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京大学天文学教育研究センター内 TEL 0422-34-5027
Eメール ynakamur@mtk.ioa.s.u.tokyo.ac.jp ホームページ http://www.sciencestation.jp/